



鈴鹿市立愛宕小学校 学校だより

令和4年2月16日 No.12

【教育目標】
知・徳・体の
調和がとれ
主体的・協働的に
行動できる
児童の育成

第5回学校運営協議会 学校関係者評価を実施

1月25日(火)、第5回学校運営協議会が開催されました。今回は、校内人権教育・特別支援教育推進委員会、生活指導委員会、研修委員会の各委員長をしている教員3名も参加して本年度の取組の成果と課題について報告し、本校教育についての評価(学校関係者評価)をしていただきました。



学校関係者評価をいただくことで、学校の教育活動について保護者、地域の皆様の理解と参画を得ることができ、学校・保護者・地域の連携協力による学校づくりを進めることができます。また、いただいたご意見を基に、次年度の学校経営方針を立て、学校として組織的・継続的に改善を図ることができます。

【人権教育・特別支援教育推進委員会より】

子どもたちのアンケートを見ると、自己肯定感、自己有用感が低いことが気になる。子どもたちが自信ややる気をもてるよう、学校でも具体的な取組を策定し進めていきたい。家庭や地域においても、子どもたちに肯定的な言葉かけが必要である。

本校では、外国籍児童が年々増加しており、手厚い支援ができる体制が必要になってきている。また、それに伴い、多様な文化を認め合い、尊重し合って、ともに生きようとする心の教育(多文化共生教育)も大切になってきている。地域においても、多文化共生について連帯した取組をしていただけると有難い。

さまざまな人権についての教育目標があるが、本校の課題を明確にし、職員で共有して組織的な取組をしていく必要がある。

***** 質疑応答・ご意見 *****

(委員) 「自分には良い所があるか」の回答において、子どもの意識と保護者の意識とのズレが少しでもなくなるようになってほしい。(アンケート児14保10)

(委員) 外国籍児童の数は具体的にどうなっているのか。

(学校) ここ1,2年で増加しており、来年度は日本語指導が必要な児童が12名となる。今後も増えることが考えられる。

(委員) 外国籍児童及び保護者への支援は、行政の課題でもある。地域とし

でも、共生ができるよう取組をしていく。

(学校) これまで、外国籍児童への支援に力を入れてきたが、これからはそれに加えて、周りの子の多文化への理解を進め、共生意識を育てる必要がある。ぜひお力添えをお願いしたい。

(委員) アンケート結果の「いじめ」の項目内で、「理由によっては仕方がない」と考える児童が約14%いることが気になる。いかなる理由があっても、いじめはいじめである。そのことをしっかり指導してほしい。

(委員) 学年を越えた「縦割り班活動」があれば、他者を受容したり思いやりを育んだりする機会となり、いじめや困っている友だちを見逃すことが減るのではないか。常に、自分の周りに誰かがいて、孤独にならず、気軽に相談できる状況がつくられるとよい。

【生活指導委員会より】

「規範意識」の育成と「基本的生活習慣」の確立を目指して、取組を進めてきた。「あいさつ」については、指標には届いていないが、元気に取り組んでいる。「安全教育」としては、「安全環境の整備」「不審者対応訓練」「危機管理マニュアルの見直し」を行うことができた。児童会活動の活性化にも取り組みたいが、コロナ禍でなかなか難しかった。

***** 質疑応答・ご意見 *****

(委員) メディア視聴が2時間以上の子は、健康面からも心配である。(アンケート児23)

(委員) あいさつは、低学年はしっかりできていると感じる。高学年児童は思春期であり、難しい面もあるが、堂々と相手の目を見て、自分を出せるような指導をしてほしい。

(委員) 窓の飛散防止フィルムは、どのくらい貼ってあるのか。

(学校) 学校予算の範囲内での取組であるため、中学年の教室・廊下のみである。中学年としたのは、低学年は体格的に窓の鍵まで手が届かないこと、高学年は跳び付いたりせずに楽に届くことからである。

(委員) 愛宕小は通学団がないので、異学年交流の場として学校で縦割班活動に取り組んできていたが、なぜ本年度は行わなかったのか。

(学校) コロナ禍により異学年で集まる活動が難しい現状がある。また、臨時休業等により、教科指導の時間数確保が必要となったためでもある。しかし、高学年児童が学校のリーダーとして活動し、下学年児童に関わることは、大変教育的意義がある。児童会活動の在り方についても検討し、次年度に活かしていきたい。



【研修委員会より】

生活科・総合的な学習の時間を中心に、「地域の人々の生き方から学ぶ」学習に取り組んできたが、コロナ禍で地域へ出ることがなかなか難しかったため、子どもたちと地域の方とのつながりを十分に構築できていない。しかし、ICT機器等を活用した授業により、自ら問いをもって探究的に学習をすすめる力は少しずつついてきていることが、子どもたちのアンケート結果から伺える。

「生活・総合が好き」90%以上（アンケート児 1）
「自分で問いを持てるか」80%以上（アンケート児 2）
「自分が好き」80%弱（アンケート児 14）

学力向上については、みえスタディチェック（4，5年）や全国学力・学習状況調査（6年）をその学年だけのこととして任せてしまうのではなく、それぞれの学年に応じた授業改善を進める指針として活用していく必要がある。そのためにも、全学年において子どもたちの学力・学習状況に応じた目標設定が必要である。全学年の学力・学習状況を客観的に把握する方法を検討し、取組を進めていきたい。

算数の少人数学習（チームティーチング，習熟度別授業）については、児童・保護者ともに90%以上が「分かりやすい」「効果がある」（アンケート児 10保6）と回答しているが、学習内容の定着には課題がある。子どもたちが主体的・対話的に学習を進めていく授業へ改善を一層進めていく必要がある。

***** 質疑応答・ご意見 *****

（委員） 「対話的な授業」とはどのようなものか。

（学校） 教員の話の聴いたり指示された活動を行ったりするだけでなく、自分と仲間との考えの相違から学習内容をより深く理解したり、新しい考えに至ったりする活動を中心とした授業を指す。そのような授業を成立させるためには、子どもたちの表明性，表現力，共感性等を育てていく必要がある。

（委員） 家庭学習については、概ね目安とした時間の確保はできている。

（アンケート児 6）しかし、ゲームの時間は2時間以上となっている。（アンケート児 23）それにも関わらず、全国学力・学習状況調査結果が平均以上となっているのは、学校での授業をしっかりとやっ
てもらっているからともいえるのではないか。先生たちはよく努力している。今後、「新しい時代の授業」を行うためにより一層の研修が必要になる。先生たちの働き方改革を進め、研修時間の確保に努めてほしい。



(学校) これまでの学校は、教員の「職人的」な仕事により成立していたが、今の時代は、目標や方策を学校全体で共有し、組織的に業務を進めることが必要になってきている。具体的な目標設定をし、評価と改善サイクルを回していくことが大切だと考えている。

本年度、保護者・地域等との迅速な情報共有のため、マチコミメール配信の活用、ペーパーレス化を行った。それにより、印刷や配付業務が削減でき、教職員の勤務時間削減策ともなった。

現在、校内企画委員会が中心となり、次年度の学校改善案を策定中である。その1つとして、**校時を変更して放課を20分ほど早めること***を検討している。それにより、子どもたちの放課後の時間を充実させ、教員の会議や研修の時間を勤務時間内に確保できるように努めたい。**※ 保護者の皆様にも、2月中にはお示しいたします。**

(委員) 働き方改革は、個々の持っているすべての「仕事」「作業」を棚卸しし、解体したものを「精選ではなく“切る”」ことをしないと、本当の改革にはならない。そして、教員個々の担っている業務量を平準化することが大切になる。ただ、学校の仕事で、“切る”ことは、なかなか難しいとも考える。

いただいたご意見を基に、現在、次年度に向けて学校運営における改善点を整理しております。完成した「学校評価書」は、本年度末に学校ホームページでも開示させていただきます。

第5回学校運営協議会では、その他にも、12月に改訂した「学校危機管理マニュアル」についてもご意見をいただきました。

<主な見直し内容>

- ・ 学期毎の安全点検箇所を追加した。
- ・ 保健室への来室記録フォームを作ることで、情報共有を徹底した。

<今後の改訂予定>

- ・ 児童、教職員のICT機器活用における危機管理について追加する。

***** 質疑応答・ご意見 *****

(委員)「あんしんの家マップ」を常に最新の状態にしておく必要がある。危機管理マニュアルも、保護者の皆様に開示ができるよう現在準備を進めております。

学力向上に向け、みえスタの結果分析をしました

1月19日に、第5学年で「みえスタディ・チェック」を実施しました。みえスタディ・チェックは、これまでに行われた全国学力・学習状況調査等の解答の状況を分析し、県教育員会が作成した三重県オリジナルの問題です。





その採点と分析の作業を，1月26日，先生たちみなで行いました。学校では，みえスタディ・チェックの結果から，子どもたちの学習内容の定着状況を把握し，子どもたちが「わかった」「できるようになった」と実感できるような授業を目指して，改善作業を進めています。

今回の採点・分析から，「指定された言葉を用

いたり，文中から必要な箇所を引用したりして文章で書き表す活動」を，各学年の実態に応じて全校で授業に取り入れていくことを確認しました。

本年度も，残り1ヶ月ほどになりました。学習のまとめに，学校全体で取り組んでいきます。ご家庭でも，ご支援宜しく願いいたします。



今後の主な学校行事予定のお知らせ

先日マチコミでお知らせしました通り，まん延防止等重点措置期間が3月6日まで延長されたことを受け，残念ですが，中止または変更になった行事がたくさんございます。ご理解ご確認をお願いいたします。

【2月】

~~25日(金) 6年生を送る会~~ →ビデオメッセージ等に変更
※ 保護者の参加はなし



【3月】

~~1日(火) 授業参観(2・3限に分散型で実施予定)~~ →中止

※ ~~4年生は4限目に，音楽発表会~~ →3月22日以降で調整中

~~3日(木) ※ 2学年感謝を伝える会~~ →中止

4日(金) 令和4年度入学児童説明会 →物品販売のみ 13:30～

※ ~~1学年は給食後 13:30 下校~~ →通常日課

11日(金) 市内防災の日(防災訓練，防災学習を実施予定)

18日(金) 卒業式

23日(水) 給食終了(在校生)

25日(金) 修了式

※ 今後の情勢により，中止したり変更したりすることがあります。最新の学校からの連絡をご確認ください。

転居予定のあるご家庭へのお願い

学校では，来年度に向けて，児童数の正確な把握に努めています。1名の違いによって，学級数が変わってしまうこともあるからです。この先，転居の可能性のあるご家庭は，担任まで早めにお知らせください。既にお伝えいただいているご家庭は，必要はございません。宜しく願いいたします。